

保護者のみなさま

大阪府立富田林支援学校
校長 太田 正人
准校長 大門 史朗

令和2年度「富田林支援学校みんなのためのアンケート」
学校教育自己診断の集計検討結果について（お知らせ）

全体の提出率は53.4%でした。（参考：前年度52.7%）前年度に比べ提出率は、わずかながら向上しました。引き続き施設入所の児童生徒数の保護者のみなさまをふくめまして、みなさまにご提出いただけるよう取組みをすすめます。

各設問につきましては、以下の記号により、肯定（よい評価）率をしめしております。

A：よくあてはまる	☆☆・・・	A+Bが90%以上
B：ややあてはまる	☆・・・	A+Bが80%以上90パーセント未満
C：あまりあてはまらない	★・・・	C+Dが10%以上20%未満
D：まったくあてはまらない	★★・・・	C+Dが20%以上

【全校の結果】 設問全17のうち、肯定率の高かった設問（肯定率90%以上）は、8問（前年度11問）という結果となりました。特に評価が低かった（肯定率80%以下）設問は、設問4の「学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。」（68.9%）と設問17の「PTA活動は、目的を共有して適切に活動している。」（77.6%）でした。

その要因としては今年度、新型コロナウイルス感染症対策により行事等を精選した結果、保護者来校の機会が例年に比べ大幅に減少しました。さらに、感染症に注意しておこなった行事でも来校者の人数制限や少人数となるように時間を分けたりいたしました。また、例年4月におこなわれるPTA総会につきましても開催できない状況での6月からの新学期スタートとなったことなどが考えられます。

逆に昨年度、否定率が唯一10%超えた設問1の「子どもは学校へ行くことを楽しみにしている。」が10%未満になったのは、学校としてもうれしく思います。

次に各学部で特筆すべき点をあげます。

【小学部の結果】 設問全17のうち、肯定率が100%の設問は、設問1の「子どもは学校へ行くことを楽しみにしている。」と、設問6の「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的におこなっている。」でした。設問4の「学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。」は全体の結果でも記述した通りの要因で、肯定率は極端に低い結果となりました。

【中学部の結果】 設問全 17 のうち、他学部同様、設問4の「学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。」の肯定率は極端に低い結果となりました。ほかの設問に関しては、若干の変動はありますが、ほぼ例年と同様の結果となりました。

【高等部の結果】 設問全 17 のうち☆の数の合計数（23）は昨年度（17）と比べ多くなり、新型コロナウイルス感染症の影響の中、うれしい結果となりました。特に昨年度肯定率が80%以下となった設問12「学校は、児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命を大切にする心やルールを守る態度を育てようとしている。」と設問13「学校はいじめのない集団作りに取り組んでいる。」が80%を超え☆となりました。また、高等部として例年同様、☆と★のつく設問が他学部に比べ多く、すなわち肯定意見が多いが、否定意見も多い設問が4問となり数は減少しましたが（昨年度は8問）、引き続き学部での検討課題となっています。

自由記述欄「よりよい学校にするために、こうすればいいというアドバイス等がありましたら、お書きください。」で、いただいたご意見をもとに考察します。

【全体】

- 今年度は、新型コロナウイルス感染症に関してのご意見が多数ありました。その中で、「新型コロナウイルス感染症対策で大変ななか、適切に対応していただきありがとうございます。」という感謝のご意見や「まだまだ、気が抜けませんが引き続きお願いします。」といったはげましのご意見をいただいたことに、学校としてもうれしく思うと同時に今後も日々の学校生活で気をつけていきたいと考えています。
- 学校駐車場が遠いというご意見に関しましては、本校は交通の便が非常に悪く、大変ご苦勞をおかけしております。毎年、大阪府へ駐車場の確保を要望しているところですが現状はきびしいようです。また、ここ数年こんごう福祉センター内の再編整備が進められている最中ですので、確定した回答はできません。学校としては行事等個々の場合によって、校内駐車をを行うなど柔軟に対応しておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
- 送迎の際など校内駐車につきましては、門扉の係員と連携し安全・スムーズに送迎ができるようにしています。また、不審者対応につきましては児童生徒の安全を第一に考え教職員でマニュアルの徹底と再確認をいたしました。
- 「通学バス停を自宅近くに」というご要望につきましては、できる限り配慮しておりますが、付近の交通事情やバス乗車時間の関係もあり今後ともご理解とご協力をお願いします。
- 学級担任など校内人事につきましては、学校全体や各学部・学年で、教員の専門性や年齢、性別などを考慮し効果的な配置をしております。
- 保護者あて配付プリントにつきましては、よりご理解いただきやすい内容につとめます。

- 小学部から中学部、中学部から高等部へ進級するにあたっての引継ぎにつきましては教員間の連携をいっそう進めますが、児童生徒の発達により再度、学校より確認等をすることもあるかと思えます。ご協力をお願いします。

【小学部】

- 今年度の授業参観につきましては、前述の新型コロナウイルス感染症対策のため難しい部分もありますが、授業内容やお子さまの実態等を含めて担任と相談させてもらってからになるものの、いつでも見学してもらえます。感染状況を勘案しながらになりますが、ご希望があれば担任までご連絡ください。
- 個別の学習につきましては、児童の実態を考慮したうえで、必要に応じて学級等で行うことは可能です。一度、担任までご相談くださいますようお願いいたします。

【中学部】

- 修学旅行の中止につきましては、ご心配いただきありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症対策でそうになりましたが、11月に「お別れ遠足」に行きました。今後も行事の変更等が予想されますが、日程変更などをふくめて検討を進めていきますのでご協力をお願いします。
- 学校指定の体操服があればというご意見ありがとうございます。体育授業、歩行およびランニング時の体操服に関しましては、各学年で活動内容に応じて予備の着替えをお願いしております。今後ともご理解ご協力をお願いします。

【高等部】

- 生徒の呼称につきましては、生徒の個々の特性や発達段階を受容し、自尊感情を高められるように配慮していきたいと思えます。
- 行事での生徒のケガにつきましては、教員間で情報の共有と共通理解をはかり、計画・実践・評価・改善を繰り返して、生徒が安全に安心して行事活動できるよう、環境整備や授業改善を今後も進めます。
- 生徒への言葉がけにつきましては、生徒の特性や発達段階を受容し、生徒に分かりやすい言葉がけを心がけます。
- 連絡帳につきましては、ここ数年学部で検討したり、他の支援学校を参考にしたりした結果、現在に至ります。生徒自らが授業を振りかえる良い機会になっているという意見もいただいています。また、保護者様に対しては電話連絡や懇談等も活用しながら学校での様子についても共有していきたいと思えます。

【PTA 活動】

- 設問17「PTA 活動は、目的を共有して適切に活動している。」は今年度の肯定率（77.2%）でした。昨年度の肯定率は（86.5%）でしたので、肯定意見が減少しました。一方、否定率が上昇したかといえ、そうではなく否定率も少しですが減少しました。要因としましては、前述したとおり今年度は新型コロナウイルス感染症対策により行事等を精選した結果、保護者参加の行事が大幅に減少した結果が大きいと考えます。
- PTA 活動につきましては、会員の大半は、お仕事もされている中で活動しています。その活動について役員会等で毎年少しずつ見直し、保護者のニーズにあった活動をしています。これからもご理解ご協力よろしく申し上げます。
- PTA 役員の選出につきましては指名委員会をたちあげ公平に選出し、強制ではなく会員の同意のもとで就任していただいています。

